

加盟前提

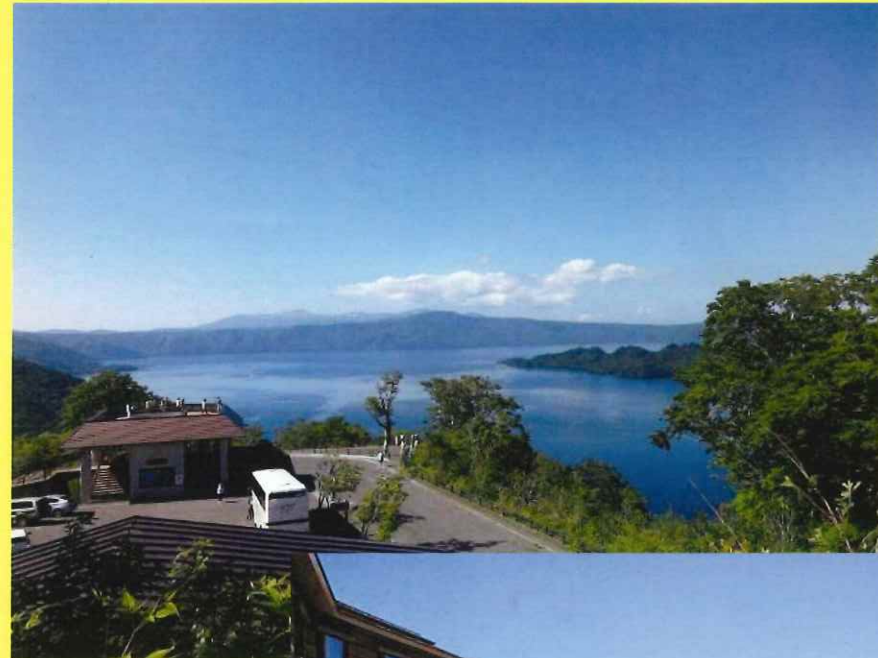
I. 「日本で最も美しい村」連合加盟村にふさわしい方針と景観を持っている事

地域資源

- 十和田湖西湖畔の自然と歴史
- 近代化産業遺跡群と循環型社会の融合

連合の長期ビジョンと方向性が一致する長期ビジョンを有している、もしくは5年以内に策定するコミットメントがある

- 小坂町総合計画においてコミットメントが明記されている



加盟前提

格付評価

A

Ⅱ. 連合加盟村にふさわしい魅力的な地域資源を有している ～生活の営みと深い関わりのある景観が存在すること～

①伝統的なまちなみや統一感のある木造建築がある

- ・ 明治百年通りの建築物群
- ・ 旧小坂駅
- ・ アカシアの並木
- ・ 十和田ホテル

②周囲の豊かな自然環境に根差した里山・里海・里川の生活の営みによって創られた景観

- ・ 十和田西湖畔
- ・ 葡萄畑の景観は今後十年後に期待



加盟前提

格付評価

B

Ⅱ. 連合加盟村にふさわしい魅力的な地域資源を有している ～文化が存在すること～

①地域に根ざした伝統芸能や歴史的に地域と歩んだ祭礼などが継続している

・近代クリスマス発祥の地としてクリスマスマーケットを開催。

・小坂音頭

・小坂七夕祭

・濁川（にごりかわ）の虫送り

②地域の素材を活かした食文化や地域が育んだ伝統工芸が存在する

・十和田湖におけるひめますの養殖

・桃豚（ブランド豚）を使用したラーメンやトンカツ、コロッケなど

・小坂七滝ワイン



基本審査

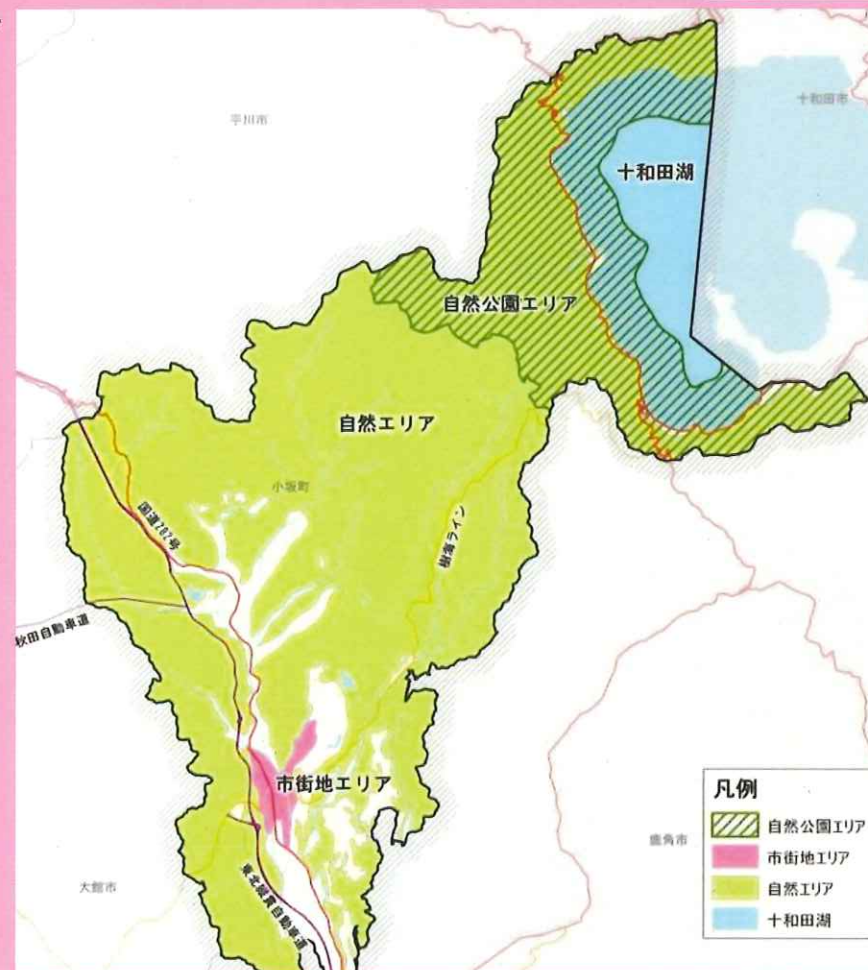
格付評価

A

●世襲財産の継承 ～世襲財産を保護する公的な規制が存在すること～

景観保護条例や開発規制などが制定されている

- ・小坂町景観条例制定(2014年)
自然公園地区と市街地区を区別して記載
- ・小坂町景観計画(2014年)
守るべき対象について具体的に記載されている
- ・自然公園法(十和田八幡平国立公園)
- ・文化財保護法(康楽館、小坂鉱山事務所)
ほか



基本審査

格付評価

B

住民参加

～地域の価値を高め、発展させる努力～

- 年間をとおして多くの観光客を受け入れており、大型バスも駐車できる準備がある。
- 湖畔エリアと市街地を結ぶ交通インフラがない
- 歴史的建造物を現役で公開、活用していることは他の見本となる
- 明治百年通りの電柱化は早くからなされた
- 看板設置は芝居小屋周辺の演出もかねる工夫がされている
- 旅行者の受け入れを積極的にしている。展示やガイド、体験プログラムに工夫があり、他の見本となる



基本審査

格付評価

A

住民参加

～地域の活力を高め、発展させるための住民の自主的な取り組み～

- ・ 住民が積極的に美化活動に参加しており、見苦しいものがない。芝生、花がどこもきれい。
- ・ まちづくり(株)は事業体であるが、その働き手は小坂愛に満ちた住民たち
- ・ クリスマスマーケット、アカシアまつりは住民の手作りといってもよい
- ・ 現役の芝居小屋として康楽館を活用している
- ・ 廃校した小中学校の活用は他の手本となる
- ・ 日本語学校生徒、武芸道団体の人々と住民の交流等、多様な人々の受け入れに柔軟である



基本審査

経済的自立

～入りを増やし、出を制する、経済的な自立を目指す努力～

- ①広域連携を含む、食・住・エネルギーの地域内の自給を高める努力がされている
 - ・ 年度内に再エネに関する具体的計画が作成される
- ②美味しい村づくりへの地域をあげた取組みが展開されている(地域的美食革命)
 - ・ 小坂七滝ワインと地元食材の魅力を発信中
- ③ツーリズムを支える地域にお金が落ちる宿やレストランの選択肢がある
 - ・ 十和田西湖畔のホテル群は魅力あり。市街地には宿の選択肢が少ない。明治百年通り以外の市街地からも魅力的な食の発信がなされることに期待。
- ④若者や女性の雇用や起業を支援
- ⑤地域資源を活かした持続的な地場産業
 - ・ 近隣からリサイクル事業従事者が通勤している。住む場所として選ばれる町に発展することに期待。

格付評価

B



首長の想いやリーダーシップ、今後のビジョン展開

首長の想いやリーダーシップが発揮され、今後のビジョン展開が明白であること

連合加盟後、首長は具体的なアクションのリーダーシップをとってきた。鉱山開発によって栄えた歴史の恩恵は大きく、現在もリサイクル精錬の技術は世界でもトップクラスである。しかし人口減少はとまらず、高校も廃校になる。首長と行政はこれまで以上に住民との議論の場をもうけ、活気にあふれ誰もが住みたくなる持続可能な小坂町の未来図を具体的に描くことが急務であると思われた。



その他

■町民がこころ優しく、外からの人々の受け入れに柔軟である。どこを訪れても植栽の手入れが行き届いており、花が植えられている。

■前回審査時の課題であった「ふるさとセンター」の活用に進展があった。アクティビティプログラムも魅力的でカフェの食事もおいしい。まずは町民、近隣市町にとっての人気スポットになってほしい。

■十和田湖畔道の駅開業にはにぎわいが期待できる。



総評・コメント

【評価点】

■ 鉱山開発で栄えた歴史を誇りにし守っている。連合加盟以前より建築物保存や電柱埋設化をおこなうなど、町づくり計画が周到にされている。

■ 来訪者に対してウェルカムな姿勢が行政、民間ともにある。年間を通じて魅力的なイベントがあり、リピート訪問したい町。

■ 古いものを守るだけでなく、新しい取り組みを積極的に行っており、そこから地域循環や自立に向けたプラス効果が生まれている。

【格付け向上課題】

■ 魅力的な食の発信がさらになされると良い。すでに良い素材がある。近隣市町からもわざわざ訪れる価値のあるレストランや加工食品などが生まれることを期待する。

■ 車をもたない来町者のための交通インフラの充実。ハイシーズンだけでも中心街と十和田湖畔へのアクセスが容易だと助かる。

■ 住む町として選ばれるサービス、働く場の拡大と充実。

■ 美食開発は今後何年かの大きな課題。

■ ワイナリーの位置付けと詳細な戦略が必要（マーケティング）

■ 見せ方と伝え方の工夫（例：パッケージデザインなど）